



SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週 報

2022～2023年度 RI会長 ジェニファー・ジョーンズ
RIテーマ イマジン ロータリー

クラブテーマ「楽しい例会 楽しいロータリー」

会長 小林 勝 幹事 杉山順一

第1532回 例会 2023.6. 9(金)雨

司会：原 兄多君

ロータリーソング「我等の生業」指揮：鈴木俊也君

事務所 三島市泉町9-8 1F南
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 呉竹

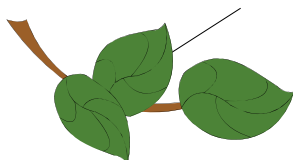
TEL.055-975-3210
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 小林勝君



私は35代目会長です。
これまで34人の会長が奉仕と親睦について、世代交代をしながら尽力してきました。
自然界では世代交代をすることで進化がおこります。
そして生物が進化するのに必要なのは「死」です。
寿命で死ぬことは悲観的なことではありません。
生物は死ぬからこそ進化するのです。
人は死が進化に重要な役割を果たすことは理解できますが、死を恐れます。
人には寿命があり、その財産を死後に持って行くことができないからこそ、せめて名を残そうと様々な寄付や奉仕をするわけです。
そしてその富は社会に役立つ使われ方をしてきました。
しかし、今後人類の世代交代が進み不老不死が実現したら、今まで社会の為に使われてきた富裕層の富は個人の為だけに使われる可能性が高くなります。
この時私たちロータリアンの役割は重要です。
その為にも奉仕と親睦というロータリーの基本的な骨格を崩さないよう、世代交代をしなければなりません。



出 | 席 | 報 | 告 |

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	31/37	83.80%	33/37	89.20%
今回	27/34	79.40%	会員総数	37名

欠 席 者

あなたが見えなくて残念でした。

伊丹君、遠藤君、篠木君、杉橋君、土屋(和)君、土屋(巧)君、吉村君

(*出席免除会員の欠席者 片野君、中村君、山本君)

おめでとう

会員誕生日	6月4日	矢岸貞夫君
	6月11日	杉山寿美子君
	6月21日	山田定男君
	6月27日	山口雅弘君
入会記念日	6月3日	大川泰君



クラブ協議会

会長 小林勝君

昨年、国際ロータリー ジェニファー・ジョーンズ会長は、テーマ「イマジン ロータリー」のもつ意味とは「ロータリークラブによる『力と絆』によって世界にもたらされる変化を想像することだ。」と仰いました。すなわち、ロータリアンが持つ「力」「情熱」「経験」「技術」「資金」を使い、プロジェクトが成功するようロータリアン同士のネットワークを活かそうという事です。

また2620地区の浅原ガバナーは、「2年間コロナによって思うように奉仕活動が出来なかったので、まずは親睦から再開し、絆を深めよう」と仰いました。

今年度の私のテーマ「親睦」「楽しい例会・楽しいロータリー」は達成できていたのか。

勿論、これは私が評価することではなく、皆様から評価して頂くことだと思います。しかし、皆様のご協力により私自身は自己満足ではありますが、達成感を持っています。

今一度、皆様の厚いご支援とご協力心から感謝致します。ありがとうございました。

幹事 杉山順一君

1年間ご協力頂いた理事、役員の皆様本当にありがとうございました。

小林年度では親睦を中心に事業を行って来ました。新しい試みとしては、happy例会、健康増進例会を実施させて頂きました。またコロナも終息からカンボジアに飲み水(井戸)の贈呈式にも行く事が出来ました。一番の事業計画として春の家族会でシルクドソレイユを観覧するでした。少ない予算の中皆の協力や創意工夫をこらし素晴らしい事業になったと思います。親睦委員会の皆様本当にご苦勞様でした。

最後にbest year 例会 又の名をブラック例会が残っています。皆で楽しめればと考えています。ご協力のほど宜しくお願いします。

クラブ奉仕委員長 岡良森君

各委員会では、この一年間、報告の通り様々な活動を行ってきました。まだ一部コロナ関連の制約を受ける中で活動ではありましたが、テーブル会の開催など、楽しいロータリー・楽しい例会に相応しい活動も取り戻しつつあったと思います。

ロータリーの原点であるところの「仲間が集まって語り合う」ことが間もなく普通のこととして戻ってくると思います。イベント実施に当たり、一部スケジュール調整の不手際もあり、統括担当として反省しております。そのような状況下でも各種行事に積極的にご参加いただきました皆様には感謝申し上げます。

社会奉仕委員長 土屋 巧君

本事業年度における社会奉仕委員会では、ウクライナ支援、特にウクライナの子供たちに向けての支援を計画し、募金活動を行わせて頂きました。先週、募金の結果報告を行う予定でありましたが大雨で例会が流れてしまいましたので、改めて皆様に報告書のご確認をお願いいたします。

重複致しますが、結果といたしまして総額27,672円のご協力を頂きました。この募金はユニセフ(国際児童基金)を通じましてウクライナの子供たちに届くように手配させて頂きました。皆様のご協力に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

ウクライナではまだ、戦争が継続しております。今後もいろいろな形で支援が継続できればと考えております。よろしくお願い致します。

SAA委員長 原兄多君

私たち会場監督委員会は、自分たちがSergeant-at-Armsであることを強く意識して活動してまいりました。

面白味に欠けた例会運営となったかもしれませんが、ご容赦願います。

1年間、ありがとうございました。

親睦委員長 服部光弥君

委員会メンバー及びせせらぎ三島ロータリークラブ会員…全ての皆さまに感謝致します。私自身、何回目の親睦委員長なのか、何回目の親睦委員会なのか…とにかく楽しい1年間でした。

小林会長のテーマを常に念頭に置いて活動し、初めてのhappy例会や健康推進例会…また会長肝入りの家族会…全てに親睦活動委員会のメンバー全員が全力で取り組んでいただき、今があります。ありがとうございます！

委員会メンバーがいつの日か…自分自身が委員長になった際には、「無茶振り」した私を是非是非、委員会メンバーに迎え入れて、私に「無茶振り」を返してほしいと思います。よろしくお願いします。

会員増強・維持委員長 藤川智徳君

当クラブは年度期首において34名からスタートいたしました。年度内においては

杉橋 聡君(紹介者:中山和雄君)

杉山 寿美子君(紹介者:米山晴敏君、服部光弥君)

三輪 暁生君(紹介者:吉村真人君、服部光弥君)の3名がご入会され今年度会員総数は今日時点で37名となりました。紹介者のご尽力並びに皆様のご協力に深く感謝申し上げます。どうもありがとうございました。

クラブ協議会

職業奉仕委員長 伊丹雅治君

一般社会に大きく貢献できる「職業奉仕」を実践するためにも、感謝と信頼を地域の人々から得ることが重要になると考えます。そこで、本年度は「地域の福祉作業所」と、何かできることはないか考えました。

三島市の松本に「エシカファーム」という静岡県東部で障がいのある方のサポートやケアをしている団体があります。幼児から成人まで、年齢に合わせたトータルサポートをしています。特徴的な取り組みとして障がいのある人の個性を活かしたモノ、コトを生み出すプロジェクト「ハチエイチ」があります。プロジェクト名には8時間働く時間がハッピーな時間であるようにとの意味が込められています。障がいのある方の表現を「カタチ」にして伝えるプロジェクトで、「その人らしさ」が感じられるものづくりを大切にされています。アート作品のグッズ化や、展覧会の実施などを行っていますので、イベントのお手伝いなどでできたら福祉施設と打ち合わせを重ねていましたが、コロナウイルスの影響のため規模を縮小した開催となりましたので、参加を諦めました。

代わりに、ロータリーの皆様に、アート作品グッズを実際に感じていただく機会をご用意しました。黄色いインフレットは「名刺作成サービス」です。静岡県に暮らす障害のある子どもと成人が描いた作品を使ったオーダーメイドの名刺作成サービスです。このプロジェクトは、障害のある方の特性や個性を生かした表現活動と社会のつながりを目的に神奈川から始まった活動で、魅力的なアートを通じて障害のある方と地域の皆さんがつながっていったらと考えているそうです。ユニークなイラストやのびのびとした筆遣いが魅力的な作品の中から1点をお選びいただき、オリジナルの名刺を作ってもらうことができます。ちなみに見本以外のデザインも可能ですので、ご相談くださいとのことでした。ご購入金額のうち500円が作者の収入として、子供の作品はアート活動費へ還元されます。名刺の基本料金は100枚3500円で、オプションで「名前を手書き文字にする」「点字名刺」「会社ロゴ等の掲載」などもできます。

そして、もう一つは「封筒プロジェクト」です。

障害のある方が描いた水彩画そのものに、えごま油を塗って強度を高め「何度でも使える封筒」に仕立てたそうです。付属の宛名紙を巻けば、郵送も可能となります。この生(なま)の絵の具だからこそ、生まれる質感をそのまま味わえるような商品だと言えます。2年かけてようやく安定販売へ向かい始めたそうです。こちらでも売上の一部は、絵を描いた本人に工賃としてお支払いしているとのことでした。

また、静岡県の取り組みとして、障がい者の文化芸術の魅力を発信するポータルサイトもオープンしました。このサイトは障害のある人が自分の興味のある文化芸術を見つける場、自分の作品を発表する場、障害のある人のアートの魅力を見つける場、企業が社会貢献のあり方を見つける場となっています。月々3,000円からできる支援の形としてアート作品のレンタルもありますので、ご興味のある方はお声掛けください。

以上がアート作品グッズの説明となります。メンバーの皆様に「アート×福祉」の可能性を感じていただけたら、とても心強いことです。

委員会のメンバーの皆様には大々的な事業が実施できませんでしたが、お詫び申し上げますとともに、心からの感謝を申し上げます、事業報告いたします。

次年度ガバナー補佐 米山晴敏君

今年度も残り半月となりました。小林会長、杉山幹事もホッとしていると思いますが、あと15日間、頑張ってください。

16日後からクラブの全員が次年度岡会長、篠木幹事、各委員長の皆さんに大いに期待をしています。頑張ってください。私も7月から、静岡第1グループのガバナー補佐を務めさせていただきます。皆さんには補佐を出すクラブとして大変お世話をお掛け致しますが、どうぞよろしくお願い致します。

18ヶ月の補佐研修を受けて準備はしてきましたが、言葉や内容が理解できずに、何度も挫折しました。その度に事務局の仲原さん、服部さん、原さんに助けてもらい乗り切ることが出来ました。補佐の仕事である、ガバナーの考えを理解するために、長い時間を掛けてディスカッションを経て、ガバナーの考えていることが少しだけわかるようになりました。しかし、その考えを第1グループの皆さんにお伝えすることは、私の能力では困難です。しかし伝える努力はしていきます。

7月にお配りする、クラブ計画および目標の中に書かせて頂きましたのでご覧いただければ幸いです。また、ガバナーと地区の方針は7月、9月の訪問時にお伝え出来ると思います。通常のリソースに関しては、マイロータリーを開いて、セントラルを見て頂くと、全てのロータリー情報を見ることが出来ます。是非チャレンジをしてください。

私は7月からせせらぎ三島RCでは無役です。入会3年以内の会員と一緒に色々なクラブにメーキャップに行きたいと思っています。声をお掛け致しますので、時間を作る工夫をしていただければ幸いです。

私が入会した頃の頃、中村さんから「ロータリーについて話をしましょう」と声をかけてもらいました。つい、忙しいからと断ってしまいました。中村さんが私の為に自らの時間を空けて声をかけてくれたことを、当時の私には理解できずに、今でも中村さんに申し訳なく思っています。このことを中村ガバナーと酒を呑みながら話しました。ガバナーからは「中村さんは素晴らしい人ですね。それに比べて米山さんはひどいですね。」と言われました。

そんな経験から、望む若い人にメーキャップにお誘いしようと思います。多くの人の成功卓話を聞いたり、直接会話して、ロータリー人脈を作りたい。誇りを持ち、ロータリーの楽しさと、感動を味わってもらいたいと思っています。そのような機会を積極的に提供出来たらいいなと思っています。

最後に、次年度、第1グループでは簡単なクラブ間交流を行うことが決まっています。

ポリオプラスは、通常の募金運動に加えて、古着deワクチンを行うことが決まっています。古着を捨てないでください。

次年度は、グループ毎の合同奉仕事業を行うことが決まっています。現在は検討中です。決定しましたらご協力をお願いいたします。

来年2月25日にIMが決定しています。実行委員会の皆さんには今でもご苦勞をお掛けしてしていますが、引き続きご協力をお願い申し上げます。

1年間クラブの皆さんには大変なお世話をお掛けしますが、宜しくお願い申し上げます。